

## 「最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出額17ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.5.21

2020年3月の機械輸出額は4兆441億円、対前年同月比13.9%減と、17ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①6地域向け全てで前年同月比減少したこと、②21業種中18業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が3.1%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は16.5%減となった。2020年4月の為替・営業日要因は3.3%の増加寄与要因となっているが、5月21日発表の貿易統計速報による簡易計算では、4月の機械輸出は27.4%減であった。

### I 要約

#### 1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆3,581億円(前年同月比 [以下同じ] 11.7%減、16ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆3,526億円(5.0%減、11ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:54億円の黒字

#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆441億円(13.9%減、17ヶ月連続減少)  
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:16.5%減(2ヶ月連続減少)
- ② 機械輸入額:2兆485億円(3.2%減、6ヶ月連続減少)

##### (2) 為替・営業日動向

2020年3月に3.1%の増加要因、4月に3.3%の増加要因、5月に7.0%の減少要因。  
(5月の為替要因は5月20日の東京市場のレートにより、仮計算)

##### (3) 地域別動向

- ① 6地域向け全てで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:17.1%減、8ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:9.7%減、2ヶ月ぶり減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:18.4%減、15ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU27向け:13.4%減、6ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:6.3%減、5ヶ月ぶり減少(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:14.7%減、2ヶ月連続減少(図表4、5、10)

##### (4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中3業種のみが増加。そのうち二桁の伸びを示した業種はなし

##### (5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 電池(北米、中国向け中心)、産業用ロボット(中国、北米、EU27向け中心)等が二桁の伸び
- ② 携帯電話、鉄道車両、船舶、時計、建設機械、工作機械、写真機の部分品・附属品等が大きく減少

##### (6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、携帯電話、乗用車等5機種が増加

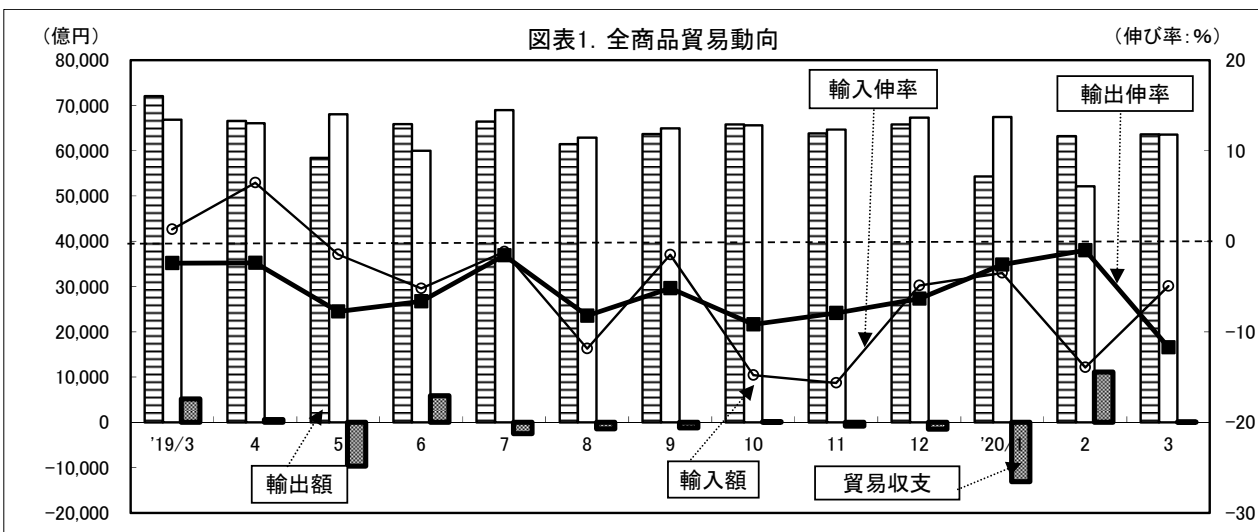
## Ⅱ トピックス

今号のトピックスの掲載はありません。

### Ⅲ 個別動向

#### 1. 全商品貿易動向～輸出は16ヶ月連続、輸入は11ヶ月連続で減少～

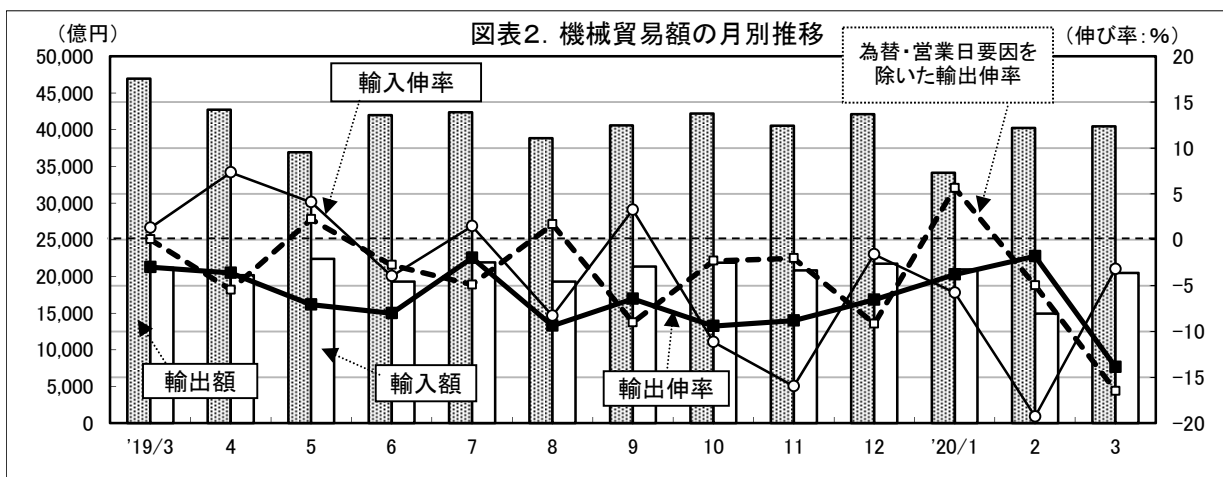
- 2020年3月の全商品輸出額は**6兆3,581億円**、前年同月比(以下同じ)**11.7%減**と16ヶ月連続で減少した(2月1.0%減)。これは、約23%を占める自動車等輸送用機器(18.2%減)、約20%の一般機械(17.9%減)、約18%の電気機器(3.5%減)、約12%を占めるプラスチック等化学製品(5.2%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(2.1%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**6兆3,526億円**、**5.0%減**と11ヶ月連続で減少した(2月13.9%減)。これは、全輸入額の約16%を占める電気機器(2.6%増)が増加したものの、約21%を占める原粗油等鉱物性燃料(11.7%減)をはじめ、約9%の一般機械(9.6%減)、原料別製品(4.4%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2ヶ月連続で黒字(54億円、2月は1兆1,088億円の黒字)となった。



#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向～輸出は17ヶ月連続、輸入は6ヶ月連続で減少～

- 全商品輸出額の約64%を占める3月の機械輸出額は**4兆441億円**、**13.9%減**と17ヶ月連続で減少し(2月1.8%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年3月)と比べると**77.0%**となって、前月に比べて7.8ポイント悪化した(2月84.8%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**16.5%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆485億円**、**3.2%減**と6ヶ月連続で減少し(2月19.3%減)、リーマンショック前(2008年3月)の水準に比べ、19.6%増となっている。

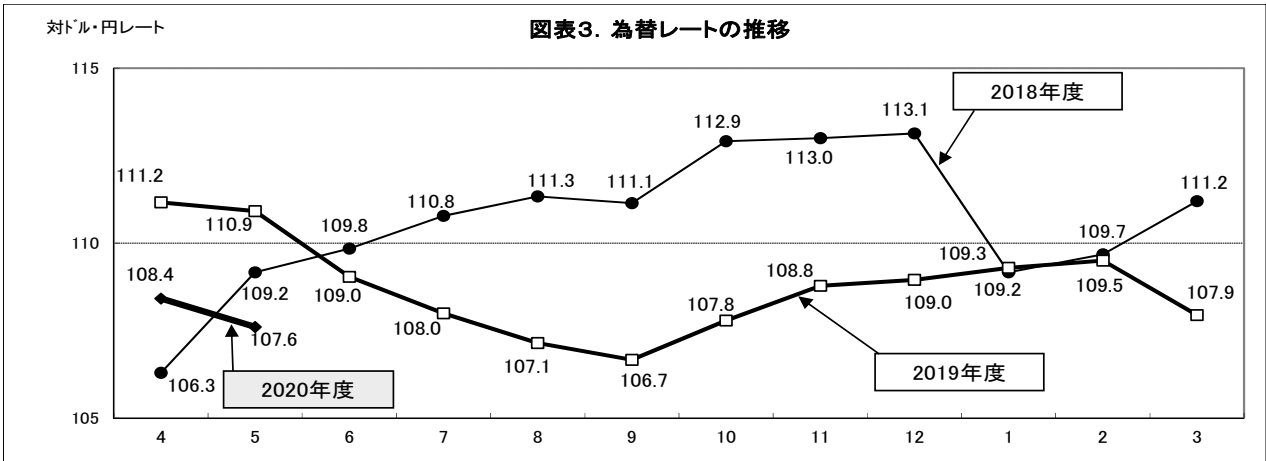


(2) 為替・営業日動向～3月は3.1%の増加要因、4月は3.3%の増加要因～

1) 2020年3月は1ドル=107.9円となり、前年に比べ2.9%の円高となった。また、対ユーロは119.2円と前年に対して5.3%の円高となり、合わせて約1.8%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合わせて約3.1%の増加要因となる。3月の輸出額は13.9%減であったことから、実質的伸び率は16.5%減と2ヶ月連続で前年同月比減少となった(2月5.0%減)。

2) 2020年4月は1ドル=108.4円で前年比2.5%の円高、対ユーロは118.5円で前年比5.4%の円高となり、合わせて約1.6%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合計で約3.3%の増加要因となる。

3) 2020年5月は、対ドルが5月20日17:00時点の107.6円とすれば、前年比3.0%の円高、また、対ユーロは117.8円で5.5%の円高となり、合わせて約1.8%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約5.3%の減少要因となり、合計で約7.0%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～6地域向け全てで前年同月比減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.1%を占める北米向けでは、電池等軽電気機械(17.3%増)等が増加したものの、46%を占める自動車(22.3%減)や産業機械(9.6%減)、航空機部品(15.1%減)等が減少し、17.1%減となった。②21.4%を占める中国向けでは、産業機械(11.9%減)、電子デバイス(1.5%減)、自動車(15.9%減)等が減少して9.7%減となり、③14.2%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(9.5%増)向けが増加したものの、タイ(21.5%減)、シンガポール(44.5%減)、インド(27.7%減)等向けが二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(14.8%増)等が増加したものの、23%を占める自動車(12.3%減)、産業機械(18.0%減)、軽機械(21.1%減)、船舶(89.8%減)等が減少して18.4%減となった。④11.1%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、軽電気機械(24.6%増)が増加したものの、37%を占める自動車(14.0%減)、産業機械(12.3%減)、理化学用機械等軽機械(10.4%減)等が減少して13.4%の減少となり、⑤10.9%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(23.3%増)等が増加したものの、産業機械(13.5%減)、自動車(19.0%減)等が減少して6.3%減となった。⑥16.5%のその他地域向けでは、中近東(0.5%増)向けが微増したものの、アフリカ(27.2%減)、中南米(22.7%減)向け、ロシア東欧等(18.3%減)等が大きく減少し、業種でも、自動車(5.2%減)、船舶(41.4%減)、産業機械(13.9%減)等が減少して14.7%の減少となった。

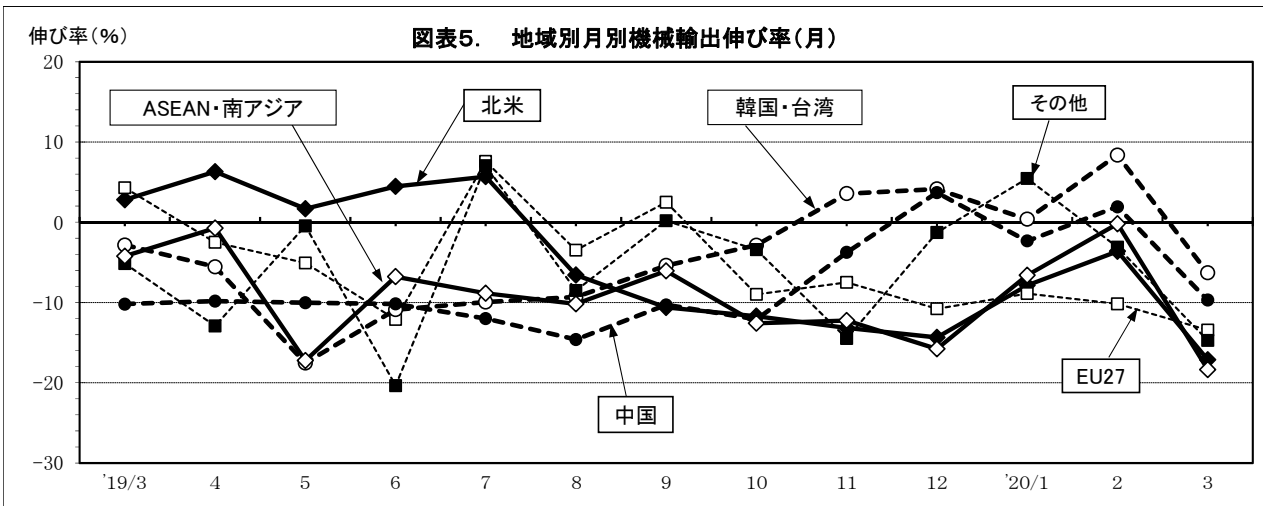
2) また、リーマンショック前の2008年3月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが90%台、韓国・台湾、北米向けが80%台、EU27向けが60%台、その他地域向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/1			2020/2			2020/3			対08年 3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	34,128	▲ 3.8	100.0	40,227	▲ 1.8	100.0	40,441	▲ 13.9	100.0	0.77
北米	8,630	▲ 7.9	25.3	10,487	▲ 3.6	26.1	9,758	▲ 17.1	24.1	0.82
中国	6,727	▲ 2.3	19.7	8,274	▲ 1.9	20.6	8,672	▲ 9.7	21.4	0.96
ASEAN・南アジア	5,093	▲ 6.6	14.9	5,885	▲ 0.2	14.6	5,746	▲ 18.4	14.2	0.92
EU (英国を除くEU27)	3,819	▲ 8.9	11.2	4,297	▲ 10.2	10.7	4,479	▲ 13.4	11.1	0.60
英国	649	▲ 4.9	1.9	724	▲ 12.5	1.8	701	▲ 16.4	1.7	0.52
韓国・台湾	3,387	0.4	9.9	4,071	▲ 8.4	10.1	4,426	▲ 6.3	10.9	0.86
その他	5,823	5.5	17.1	6,490	▲ 3.1	16.1	6,660	▲ 14.7	16.5	0.59

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

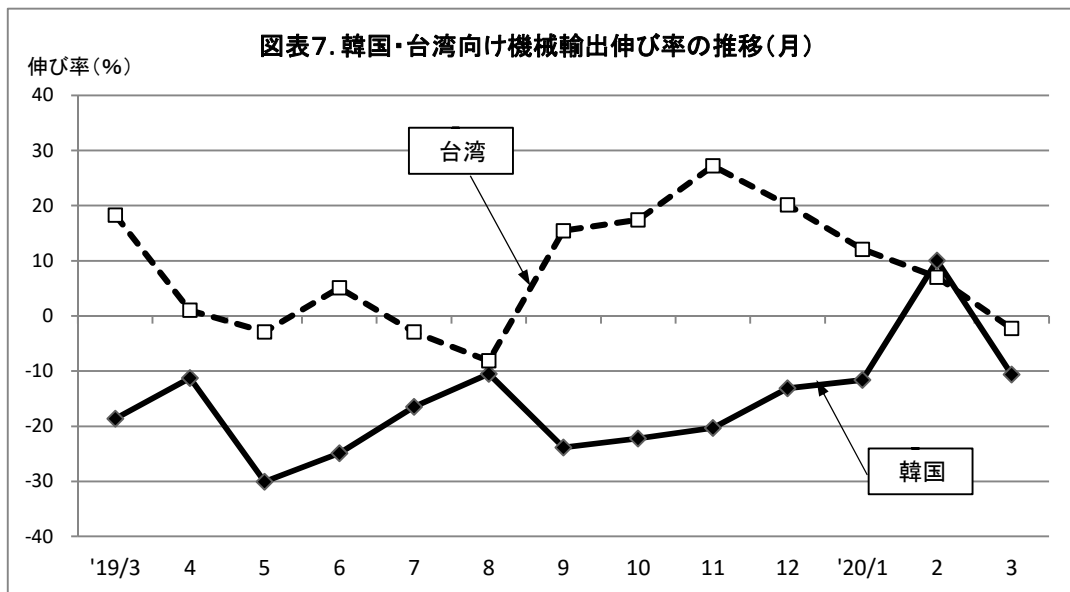


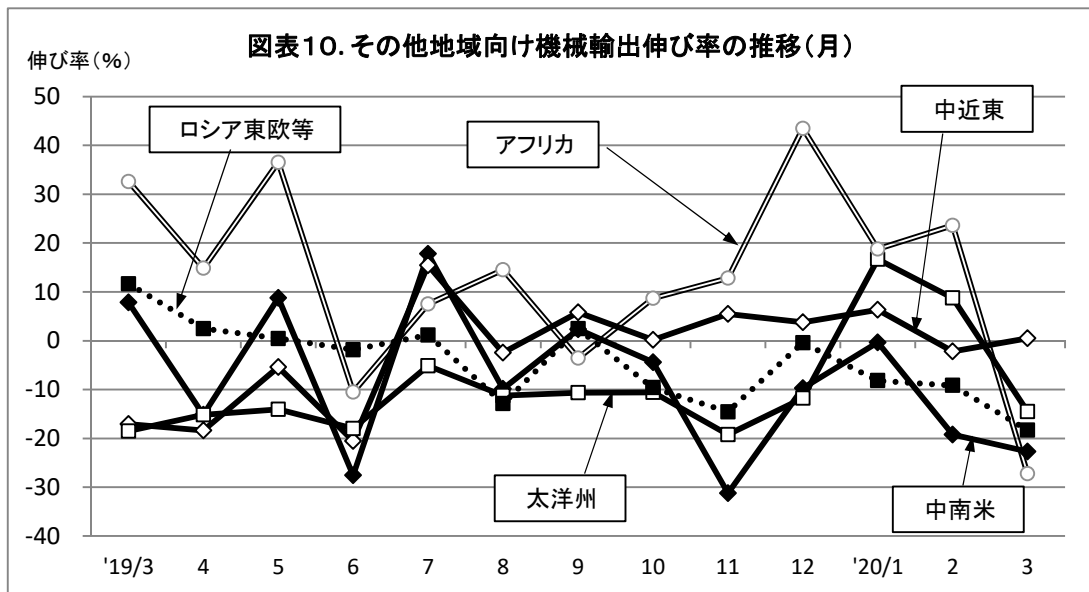
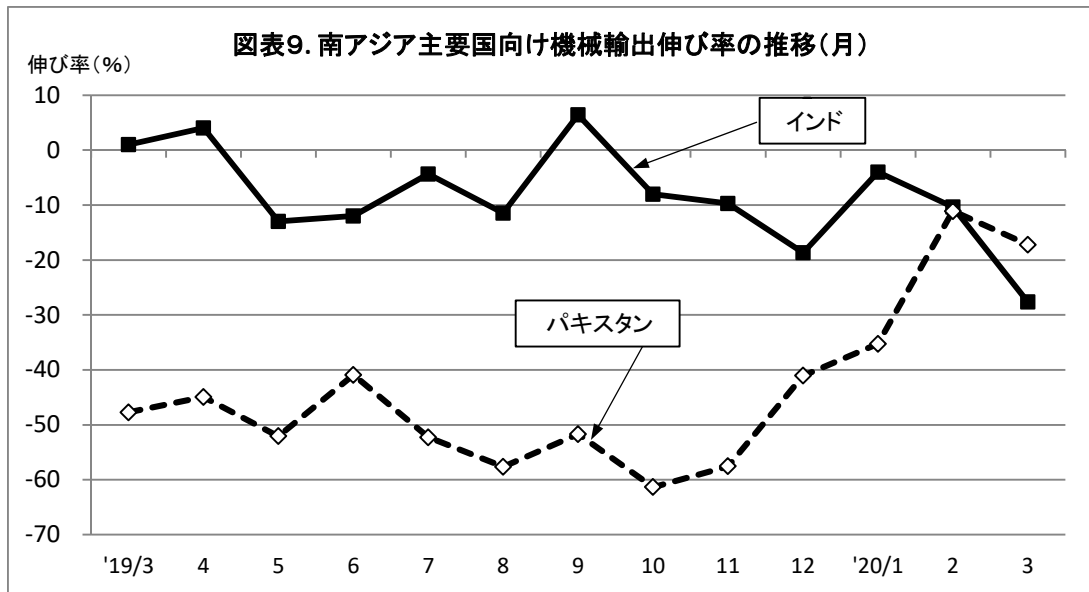
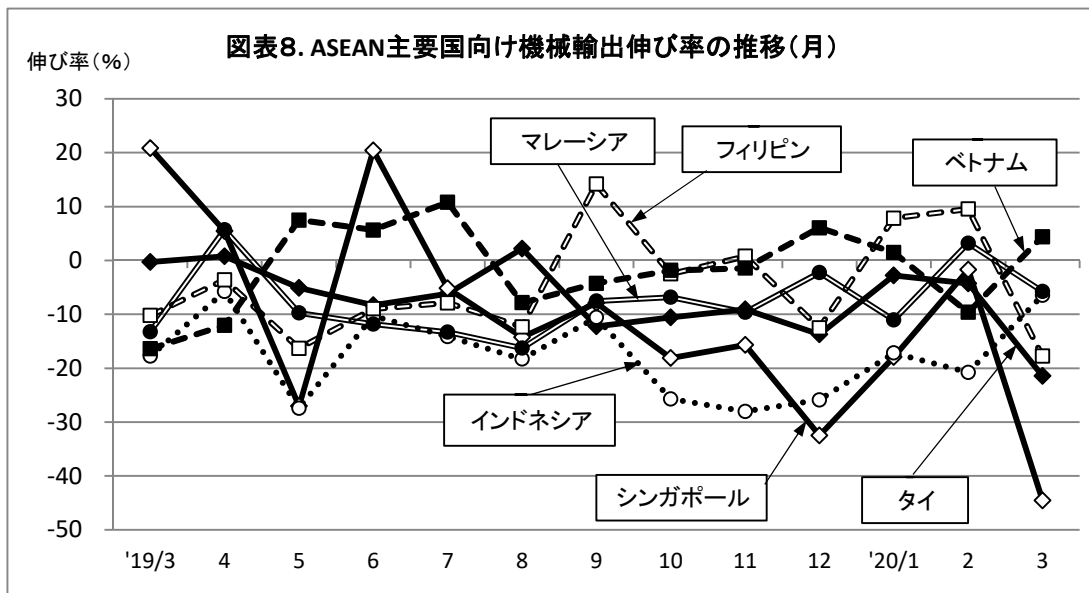
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2019/12		2020/1		2020/2		2020/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,713	▲ 13.1	1,472	▲ 11.6	1,878	10.0	2,023	▲ 10.6
台湾	2,564	20.1	1,915	12.1	2,194	7.0	2,403	▲ 2.3
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,609	▲ 13.7	1,338	▲ 2.8	1,522	▲ 4.3	1,398	▲ 21.5
シンガポール	763	▲ 32.5	796	▲ 18.0	886	▲ 1.7	756	▲ 44.5
インドネシア	668	▲ 25.9	587	▲ 17.2	618	▲ 20.8	767	▲ 6.5
マレーシア	638	▲ 2.3	552	▲ 11.0	639	3.2	655	▲ 5.8
フィリピン	559	▲ 12.5	545	7.9	627	9.5	515	▲ 17.8
ベトナム	820	4.4	618	6.8	814	27.4	847	9.5
インド	472	▲ 18.7	426	▲ 4.0	497	▲ 10.3	490	▲ 27.7
パキスタン	73	▲ 41.1	43	▲ 35.3	65	▲ 11.1	76	▲ 17.2
<b>その他地域</b>								
中南米	1,794	▲ 9.7	1,763	▲ 0.4	1,908	▲ 19.2	1,937	▲ 22.7
中近東	1,925	3.8	1,407	6.3	1,568	▲ 2.2	1,911	0.5
大洋州	959	▲ 11.8	1,132	16.7	1,146	8.8	1,159	▲ 14.5
ロシア東欧等	1,036	▲ 0.4	1,009	▲ 8.2	1,185	▲ 9.2	1,140	▲ 18.3
アフリカ	653	43.5	622	18.8	738	23.7	614	▲ 27.2

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 電子デバイス、軽電気機械、農業機械の3業種のみが増加。～

- 1)業種別では、電子デバイス(6.2%増)、軽電気機械(1.4%増)、農業機械(0.4%増)の3業種のみが前年同月比で増加となった(2月は7業種)。そのうちで二桁の伸びを示した業種はなく、機械全体では13.9%の減少となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、軽機械の3業種となった(2月も3業種)。他方、電子計算機が30%台、鉄道車両、民生用電子機械、船舶、産業車両、通信機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2020/1			2020/2			2020/3			対2008/3 比
業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	
自動車	12,257	▲4.1	自動車	14,324	▲3.9	自動車	13,760	▲14.6	0.76
産業機械	5,633	▲6.6	産業機械	7,180	▲6.7	産業機械	7,699	▲13.1	0.94
電子デバイス	3,000	1.4	電子デバイス	3,258	23.0	電子デバイス	3,359	6.2	0.84
軽電気機械	2,001	4.3	軽電気機械	2,425	14.7	軽電気機械	2,578	1.4	0.98
船舶	1,740	16.3	重電気機械	1,956	3.4	重電気機械	2,067	▲9.6	0.94
重電気機械	1,620	▲1.9	船舶	1,639	▲3.6	軽機械	1,576	▲15.9	1.10
軽機械	1,310	▲7.8	軽機械	1,580	▲3.2	船舶	1,364	▲43.8	0.46
民生用電子機械	1,146	▲3.2	民生用電子機械	1,355	6.1	民生用電子機械	1,354	▲6.5	0.41
光学機械	928	3.9	建設機械	1,063	▲17.5	建設機械	1,055	▲33.4	2.6
建設機械	787	▲28.9	光学機械	1,019	8.0	光学機械	1,051	▲6.0	2.6
航空機部品	669	▲1.8	航空機部品	751	▲1.5	航空機部品	754	▲10.0	1.9
工作機械	431	▲26.6	工作機械	571	▲26.7	工作機械	640	▲33.1	1.6
医療機械	387	3.9	医療機械	518	7.0	医療機械	536	▲5.7	1.3
通信機械	374	▲11.4	通信機械	430	▲5.3	通信機械	429	▲16.4	1.1
陸用内燃機関	360	▲9.4	陸用内燃機関	399	▲12.4	陸用内燃機関	391	▲20.5	1.0
電子計算機	328	2.2	電子計算機	351	▲0.7	ベアリング	364	▲20.5	0.9
ベアリング	313	▲14.2	ベアリング	349	▲15.2	電子計算機	360	▲17.6	0.9
農業機械	142	▲8.1	農業機械	224	10.4	農業機械	225	0.4	0.99
繊維機械	140	3.7	繊維機械	176	▲20.3	繊維機械	181	▲13.2	0.4
産業車両	86	▲12.0	産業車両	113	▲6.9	産業車両	122	▲5.9	0.3
鉄道車両	52	13.5	鉄道車両	27	▲60.9	鉄道車両	34	▲60.5	0.1
21業種合計	33,705		21業種合計	39,708		21業種合計	39,900		98.7

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～電池、産業用ロボットが大きく増加、鉄道車両、携帯電話等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は、①北米、中国向け電池(17.0%増)、②中国、北米、EU27向け産業用ロボット(13.6%増)の2機種であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、携帯電話(61.9%減)、鉄道車両(60.5%減)、船舶(43.8%減)、時計(33.5%減)、建設機械(33.4%減)、工作機械(33.1%減)、写真機の部分品・附属品(32.7%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/1		2020/2		2020/3	
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,740	16.3	電池	517	27.4
鉄道車両	52	13.6	電子デバイス	3,258	23.0
磁気カード・ディスク等	101	10.6	発電機	63	22.4
機種合計	1,893	* 5.5%	電気・電子計測器	468	15.4
			産業用ロボット	166	14.5
			その他の光学機器	862	13.8
			配電機器	486	13.7
			時計	72	10.7
			農業機械	224	10.4
			電動機	194	10.3
			機種合計	6,310	* 15.7%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/1			2020/2			2020/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	13	▲ 45.8	鉄道車両	27	▲ 60.9	携帯電話	12	▲ 61.9
通信機械部分品	104	▲ 30.7	携帯電話	16	▲ 40.5	鉄道車両	34	▲ 60.5
建設機械	787	▲ 28.9	工作機械	571	▲ 26.7	船舶	1,364	▲ 43.8
工作機械	431	▲ 26.6	繊維機械	176	▲ 20.3	時計	68	▲ 33.5
写真機の部分品・附属品	62	▲ 24.9	建設機械	1,063	▲ 17.5	建設機械	1,055	▲ 33.4
金属加工機械	160	▲ 21.2	写真機の部分品・附属品	82	▲ 16.1	工作機械	640	▲ 33.1
時計	57	▲ 20.0	ベアリング	349	▲ 15.2	写真機の部分品・附属品	71	▲ 32.7
ベアリング	313	▲ 14.2	陸用内燃機関	399	▲ 12.4	デジカメ・ビデオ	172	▲ 28.5
産業車両	86	▲ 12.0	TV	109	▲ 11.3	金属加工機械	253	▲ 24.4
TV	90	▲ 11.7	機種合計	2,792	* 6.9%	伝動機	368	▲ 21.3
機種合計	2,103	* 6.1%				機種合計	4,037	* 9.9%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち携帯電話、乗用車等5機種が増加～

- 1) 3月の機械輸入伸び率は3.2%減と6ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち携帯電話(83.6%増)、乗用車(15.5%増)、受信変換その他送受信機器(6.9%増)をはじめ、5機種が前年同月に比べて増加し(2月は1機種)、そのうち携帯電話と乗用車の2機種が二桁増加した。減少したのは、電子デバイス(0.9%減)、電子計算機(9.6%減)をはじめ、7機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、医療機械、白物家電、受信変換その他送受信機器、配電機器、TV、時計、デジカメ、通信機械部分品の11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(0.7%減)、ASEAN・南アジア(0.5%減)、北米(6.9%増)、EU27(20.4%減)、韓国・台湾(3.1%減)、その他地域(1.7%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2020/1				2020/2				2020/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,205	1.4	10.5	電子デバイス	1,920	3.2	12.8	電子デバイス	2,205	▲ 0.9	10.8
電子デバイス	2,121	▲ 3.0	10.1	電子計算機	1,397	▲ 25.8	9.3	電子計算機	1,987	▲ 9.6	9.7
携帯電話	1,333	▲ 38.9	6.4	航空機・部品等	1,018	▲ 1.1	6.8	携帯電話	1,682	83.6	8.2
自動車部品	1,138	▲ 12.4	5.4	自動車部品	760	▲ 24.9	5.1	乗用車	1,179	15.5	5.8
乗用車	1,044	28.6	5.0	乗用車	693	▲ 30.6	4.6	航空機・部品等	1,082	▲ 28.7	5.3
白物家電	765	▲ 1.9	3.7	携帯電話	682	▲ 48.6	4.6	自動車部品	1,008	▲ 10.3	4.9
航空機・部品等	746	▲ 31.6	3.6	医療機械	662	▲ 7.2	4.4	医療機械	758	▲ 7.9	3.7
受信変換その他送受信	746	16.6	3.6	受信変換その他送受信	491	▲ 13.9	3.3	白物家電	668	▲ 11.1	3.3
医療機械	651	▲ 7.3	3.1	配電機器	458	▲ 13.4	3.1	受信変換その他送受信	650	6.9	3.2
配電機器	629	▲ 5.8	3.0	白物家電	397	▲ 38.3	2.7	配電機器	628	▲ 0.8	3.1
コンデンサー等部分品	407	▲ 5.8	1.9	その他の配電制御装置	283	▲ 12.9	1.9	コンデンサー等部分品	404	4.1	2.0
その他の配電制御装置	402	▲ 2.6	1.9	コンデンサー等部分品	269	▲ 19.2	1.8	その他の配電制御装置	394	1.4	1.9
12機種合計	12,187		58.2	12機種合計	9,030		60.4	12機種合計	12,645		61.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等